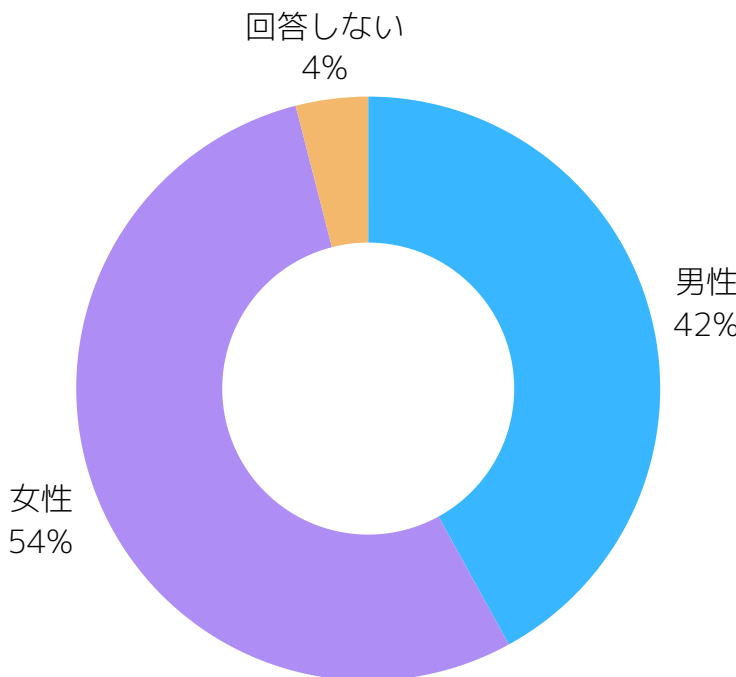


ドラマ 「VIVANT」に 関するアンケート

調査の概要

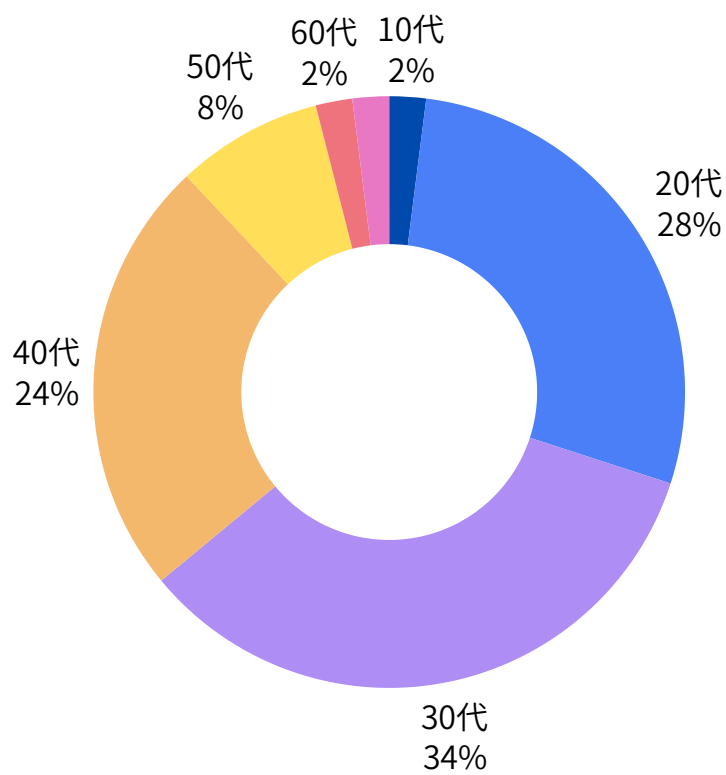
調査内容	ドラマ「VIVANT」の満足度や感想
調査対象	ドラマ「VIVANT」を視聴したことがある人
調査方法	クラウドワークスを利用したWEB調査
調査期間	2026年04月16日～2026年04月30日
有効回答数	50人

回答者の性別



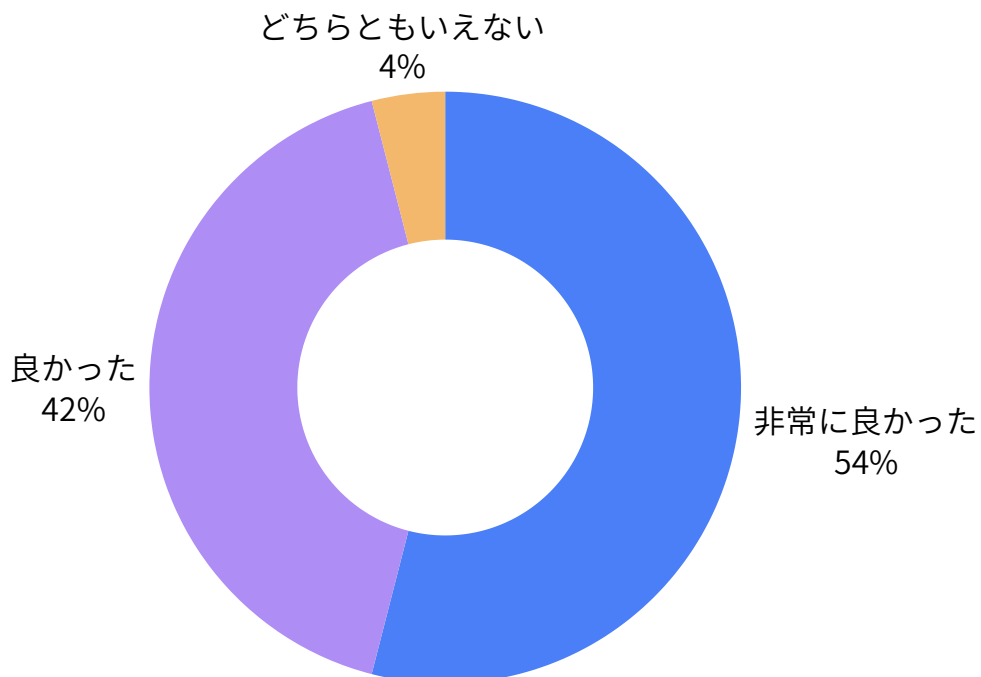
性別	回答者数 (人)
男性	21
女性	27
回答しない	2

回答者の年齢



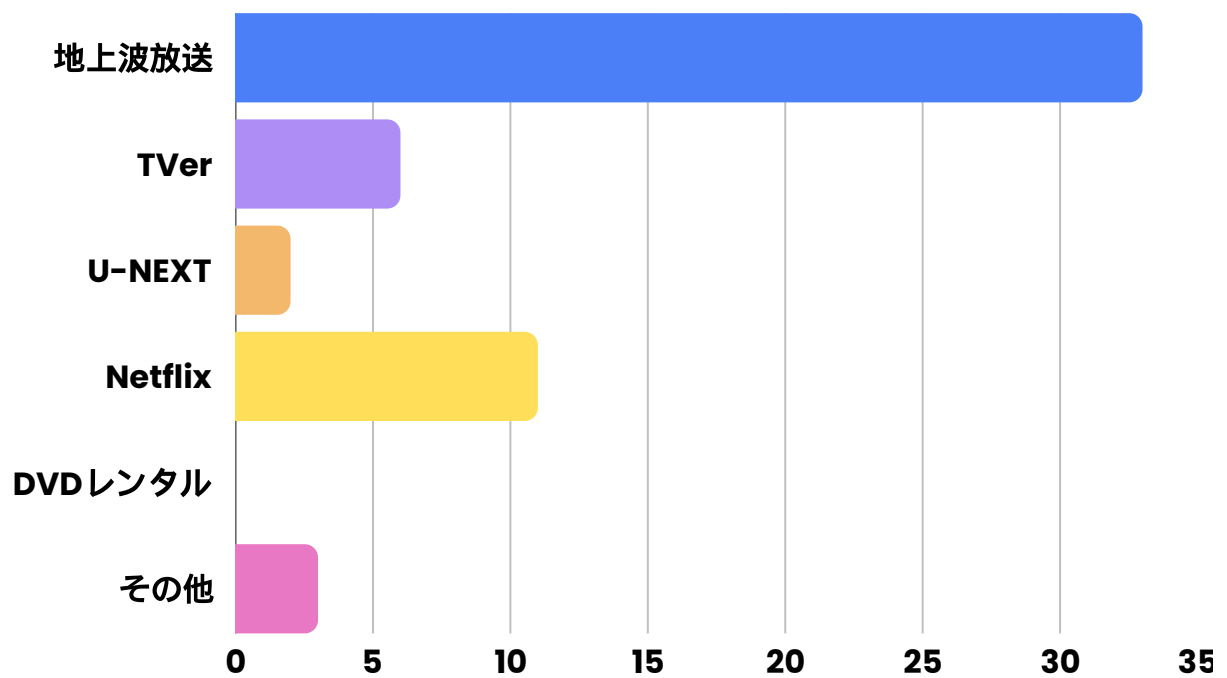
年齢	回答者数（人）
10代	1
20代	14
30代	17
40代	12
50代	4
60代	1
70代	1

「VIVANT」を視聴した感想



視聴した感想	回答者数（人）
非常に良かった	27
良かった	21
どちらともいえない	2
あまり合わなかった	0
合わなかった	0

「VIVANT」を何で視聴しましたか？



視聴方法	回答者数（人）
地上波放送	33
TVer	6
U-NEXT	2
Netflix	11
DVDレンタル	0
その他	3

「VIVANT」を見た感想 (フリーアンサー)

スケールが大きくて展開も早くて面白かったです

予想がつかない展開で面白かったです。

スケールが映画規模なのに圧倒され、ストーリーも先が読めず、毎回楽しみに見ました。

登場人物の正体や関係性が徐々に明らかになっていく過程が面白かった。

近年の小さくまとまったドラマとは違い、スケールが大きい事に圧倒されましたし、毎週こういった展開なるのかととても楽しみに観ていました

先の読めない展開とスケールの大きさに圧倒されている間に終わった！続編が早く見たい。

キャラクターの配役もよく、すごくのめり込んで見られました

第一話から驚きの連続でした。
最後までその面白さを保っていて良かったです。

モンゴルの砂漠の景色、出演の人達の演技力、どれも素晴らしかったです。

素晴らしいクオリティのストーリー

まず日本のドラマにはないスケールの大きさに驚きました。内容は賛否両論ですが私はハラハラドキドキしながら楽しめました。ポーっと見ていると内容がわからなくなるのでしっかり集中して見ていました。

堺雅人さんの役が二重人格なのが衝撃でした。味方だと思っていた人が敵だったり衝撃なことがたくさんありました。

とにかくこんなにもワクワクしたドラマはないです。主人公が二重人格だったり恋愛要素があったりスケールが大きかったりシリアスで面白いです。展開に緊張感があって少し半沢の要素もプラスされているのでかなりおすすめの作品です。

第1話から続きが気になる内容で、1週間経つのが待ち遠しかった。続編があるそうなのでとても楽しみ。

始めは、どのようなドラマかよくわからなかったが、別班という特殊な題材を扱う内容が非常に面白かった。乃木が優秀すぎた

初めはVIVANTはなんだ？誰がご送金したんだ？と考えていましたがだんだんVIVANTの招待や乃木の本性もわかってきて面白かったです

ストーリーが面白いから。

最初から最後まで展開が読めず、毎話ごとに驚かされるドラマでした。アクションやスケールの大きさだけでなく、登場人物の関係性が深まっていく過程も見応えがありました。特に後半の伏線回収が丁寧で、続きが気になって一気に見てしまうほど引き込まれました。

主人と一緒に見れて、とても面白かったです。どんどん続きが見たくなり一気見しました。是非続編も見たいねと、見終わったあとに話しました。

リブートとVIVANTの2択でしたが、二階堂ふみがすごく良かった

思いもよらない展開と伏線回収がとても良くて、堺さんはじめとする俳優陣の演技が素晴らしく記憶を消してまた1から見たいと思う作品だった

日本のドラマとしては異例の大規模な海外ロケ（モンゴルなど）や、迫力ある映像、美術セットが日本のドラマの枠を超えているまた、堺雅人さん、阿部寛さん、役所広司さんといった主役級が勢揃いし、彼らの緊張感ある演技のぶつかり合いが見応えが素晴らしい。

送金ミスから始まり、ストーリーが海外を舞台に国まで巻き込んでいく壮大さに、伏線を張りすぎた印象を受けた。

出演キャストがかなり豪華で見ている引き込まれる演技でした。ストーリーも現実でも同じようなことが起こってるんじゃないかなと思わせる、そんなストーリーでした。堺雅人の演技が凄すぎる神作品です！

別班という実際にいるらしい国の組織をテーマに当てたのが面白いと思いました。
日本版のミッションインポッシブル的な感じであり、とても見ごたえありました。

毎話毎話驚かされる内容の連続。自分が見てきた日本ドラマの中で最もクオリティの高い作品だなと感じました。

とにかく面白くて、好きです

物語の規模の大きさと言ひ、撮影地の凄さやキャストの豪華さなど、全てにおいて満腹度の高いドラマであった。特に堺雅人さんの長台詞の凄さとその貫禄には舌を巻いた。

ストーリーの展開が面白すぎました。

日曜劇場らしい豪華な俳優と女優さんと、日本を飛び出したスケールの大きさに圧倒されました。
誰が味方で誰が裏切り者なのか最後まで予想がつかず、毎週ドキドキしながら見ていました。特に堺雅人さんの二重人格の演じ分けは鳥肌モノで、最高に面白かったです。

伏線回収やどんでん返しがあって、最後までハラハラして楽しかった。

展開がまさかすぎて後半の方が盛り上がっていたので、思わず見入ってしまった

地上波のテレビなのに映画並みのクオリティがあって楽しかった

世界観のスケールがとても大きくて豪華俳優陣に合っていた

最初から最後までめちゃくちゃおもしろい、たまに難しいけど予想外なことも起こるし、出演者が豪華で演技がさすがすぎる

「VIVANT」は最初こそ“誤送金事件の大騒動”くらいに思っただけで見始めたのですが、回を追うごとに物語がどんどん深くなり、気づけば毎週ドキドキしながら見ていました。特に乃木さんの二面性が明らかになるあたりは衝撃で、家事の手を止めて見入ってしまったほどです。

海外ロケの迫力や豪華キャストの演技も素晴らしく、映画を見ているような贅沢さがありました。阿部寛さん演じる野崎の頼もしさや、役所広司さんの存在感には圧倒されました。

そして何より心に残ったのは、乃木とベキの“親子”としての複雑な感情です。愛情と使命の間で揺れる姿は、母親としても胸が締め付けられる思いでした。最終回の落としどころも納得感があり、見終わった後しばらく余韻が残りました。

全体として、エンタメとしての面白さと人間ドラマの深さが両立した、とても満足度の高い作品でした。

テレビでこれほどスケールの大きいドラマは初めて見ました。放送前は何の情報もなく、放映が始まると、商社マンの乃木が誤送金したお金を取り戻すために「バルカ共和国」へ行き、その砂漠のシーンが第1話だったと思います。その時に、もう一人の乃木が現れる演出が面白いと感じました。それ以降、

「VIVANT」の意味が分かるまで、バルカ共和国を舞台に日本大使館へ逃げ込むシーンや、日本に戻ってから意味が視聴者にも明らかになる演出、嵐の二宮さんが出演するシーンなど、次々と迫力あるシーンが続きます。このようなドラマは今まで見たことがありませんでした。次回作も決まっていますが、「VIVANT」を超える内容になるのか楽しみにしています。もし超えられなければ、1作目も無駄になってしまうのではないかと感じるほど期待しています。

素敵な映像と面白い脚本でどハマりしてしまいました。役者さんたちのお芝居も非常に見応えがあり、素晴らしい作品だったと思います。

何回もまさかという展開がででくことに、良い意味で裏切られた！と思わせるストーリー展開が良かった。正直Netflixで一気見するくらいハマった！
VIVANTって何だよという疑問と、実際にありそうな組織(ガイジ?)にも興味が出て、私たちが知らない世界が実はあるのかなと思わせる設定や、出てくる俳優陣の豪華さと演技の上手さも良い。
最後続きがありそうな展開だったので、強くて次回作を望む。

先の読めない展開にワクワクしました。ところどころ伏線が効いているのも良い。

先の読めない展開に毎回ハラハラして、次の週が楽しみになっていました。ドラマのキャラが好きです。

スケールが大きく、先の読めない展開で最後まで引き込まれた。伏線の張り方や回収が丁寧で、回を追うごとに理解が深まる構成が面白い。キャラクターの裏表や心理描写も見応えがあり、単なるアクション作品にとどまらない深みを感じた。全体的に完成度が高く、続編にも期待したくなる作品だった。

ストーリーも壮大だしキャストも豪華で映画並。毎週どんな展開になるのか楽しみだったし、予想を超えてくる。伏線の回収の仕方もすごく気持ちよかった。そしてドラマさんの表情豊かな演技が大好きだった。

マッチングしたキャラクターそれぞれが異なる背景を持つ作品であり、魅力的だと思いました。

面白いけど惜しい。日本でここまでのドラマを作れるんだという驚きは確かにあったけど、粗も結構目立つなという感じです。

見る前は難しそうなイメージだったが、ちゃんと見れば難しくないし、思わず見入ってしまうようなおもしろさや展開が楽しかった。

このドラマで初めて飯沼愛さんを見たのですが、とても可愛らしかったのと、まさか飯沼さんが演じた太田が悪役だったとはと悪役だと判明するまで想像もつかず大変驚いたので、とても印象に残る役者さんでした。

自分が見てきた日本ドラマの中で最もクオリティの高い作品だなと感じました。

謎解き感あるのが好きですね。

壮大なスケールの映像美と、予測不能な重厚なストーリー展開に終始圧倒されました。